

12月(師走)の行事予定

SC: スクールカウンセラー在校日 午前 9:00-13:00
午後 13:30-16:30
心: 心の相談員在校日 9:30-14:30

日	曜	行事予定	給食	児童会関係	SC	心
1	木	B日課 職員会議 ICT	○			○
2	金	B日課 職員会議 ALT56	○			
3	土	土曜授業③ B日課 4時間授業	×			
4	日					
5	月	参観日(全学年1組) 図書返本閲覧のみ(12/9)	○			○
6	火	参観日(全学年2組) 5時間授業 ALT35 ICT	○			
7	水	C日課(4~6年)⑮ 声かけ運動	○			
8	木	PTA役員会	○			○
9	金	ALT346 国際理解教育(3~6年)	○			
10	土					
11	日					
12	月	給食費再振替日	○	児童委員会⑤ 選挙管理委員会③		○
13	火	ALT345 ICT	○			
14	水	職員会議 声かけ運動	○		0前	
15	木	2年生フェスティバル3・4h	○			○
16	金	英検ESG(6年) 後期全校集会3h ALT46	○			
17	土					
18	日					
19	月	職員会議 冬休み図書貸出(高) ICT	○			○
20	火	冬休み図書貸出(中) ALT56	○			
21	水	B日課 大掃除(放課後) 冬休み図書貸出(低)	○			
22	木		○			○
23	金	5時間授業 全校朝会	○			
24	土	冬期休業(～令和5年1月17日)				
25	日					
26	月					
27	火					
28	水					
29	木	学校閉庁日				
30	金	学校閉庁日				
31	土	学校閉庁日				

さくらぎ

2022年度



学校だより 9号

令和4年11月30日発行

千歳市立桜木小学校

〒066-0072 千歳市自由ヶ丘7丁目1-1

TEL 0123-22-3301 FAX 0123-22-3302

URL: <https://chitose-edu.jp/sakuragi-e/>

人権週間(12/4~12/10)

【校長】
玉腰 武

「プロ教師」と呼ばれていた故平光雄氏が、著書の中で次のように書いていました。

～言いたいことを抑制なしに何でも言い、やりたいことを抑制なしに何でもやるのが、「自分らしさ」と思っている子やそれを「個性の発揮」と勘違いして子育てをしている親がいる。そうした子や親が以前より明らかに増えた。そうした子は、集団の中でも「家と同じように」、他人への配慮のない言動を繰り返し、他人を嫌な気持ちにさせる。気持ちには、いつも「自分」だけがいて、他人は「不在なのだ」だから言いたくなったら何でも言うし、やりたいことはやりたくなくなったら、何でもやる。屈託なくやり、トラブルを起こす。特に「言動」のうち、「言」は、簡単に無制限に実行できるものだけに、その配慮のないことの弊害は大きい。～

7年前に書かれたものですが、今も当てはまると言えそうな状況です。学校は、多くの児童が集まる場所で、色々な性分の子どもがいます。その子ども同士が交わす言葉を聞いていて感じるのは、言葉がきつくなっていること、配慮を欠いた言葉を使っていることが多々見られるようになったということです。

そこで学校では美しい言葉、あるいは「ふわふわことば」を使うように指導しています。「ふわふわことば」とは、「ありがとう」「いいね」などの心を温かくすることばのことを言います。

では、なぜ子どもの言葉がきつくなっているのでしょうか。家では使わないので、「学校の友達が使っているから」と考える方が少なくないのですが、それが理由ではなさそうです。家では長年一緒に暮らしているのに、自分の思っている通り(想像通り)に相手が動くので問題ないのですが、学校ではそうはいかず、相手が自分が思った通りに行動してくれないとどうしてもイライラして、文句を言うってしまうからなのです。

「相手が自分が思うように動くのが当然」と思っているから不満が生まれます。逆に「相手がやって当たり前ではない」と考えれば、様々な場面で感謝が生まれます。考え方の変換が大切です。

家と学校は違う。学校は公共の場である。感情の流れ出るままに言葉を発してはいけないということを小学校段階からしっかりと学校と家庭とで改めて伝えるべきだと考えています。無意識で発した言葉が相手を深く傷つけることが多々あるということ、そしてそれは家族と違って簡単には修復できない場合があるということを教えなくてはなりません。学校ではこの12月4日からの人権週間をその機会とします。

「誰か」のこと じゃない。



人権週間
12月4日~10日

いちよう ほうき
月々の歌
"公孫樹の木も 帚になった、" 『冬が来た』 高村 光太郎
 紅葉も終わりを迎え、イチヨウの葉が散り終えると冬間近。幹と枝ばかりになったイチヨウの木は帚のよう。帚はものの汚れや心の憂いを払い清めると言われている道具です。

5年生が車椅子体験を行いました
 10月6日(木) 5年生において、**車椅子体験**の授業が行われました。車椅子の仕組みと安全な使い方の説明を受けた後、実際に乗車し段差を乗り越えたり、Uターンしたりする体験を行いました。様々な立場の人たちの目線で見直してみると、普段気づかない大事なことが見えてきます。体の不自由な人たちの行動やそれに対する関わりを学ぶことの出来た1日でした。

第1回・新入児学級が行われました
 10月13日(木) 第1回・**新入児学級**が行われました。来年度に入学してくる児童の第1回目の登校です。みんな元気よくあいさつをしてくれ、初めて見る小学校に、期待に胸を膨らませていました。来年は、在校生は、一つずつ学年が上がり、せんぱいとなります。よきお兄さん、お姉さんとして、お手本となれるよう、頑張りましょうね。(*^_^*)

3年生がゆうまい川たんけんの授業を行いました
 10月21日(金) 3年生が、**ゆうまい川たんけん**の授業を行いました。勇舞川から採集してきた生き物たちを観察し、自然と人間生活の結びつきを学ぶ授業です。虫を虫としてだけでなく、そこから様々なことが見えてくることを、講師の埋蔵文化センター・〇〇さんに教えていただき、学びを深められた1日でした。

3年生が"国際理解教育"の授業を行いました
 11月17日(木) 3年生で**国際理解教育**の授業が実施されました。この日は、〇〇〇〇さんを講師にお迎えし、クイズ形式を交えながら、日本とニュージーランドの時差や季節の違いについて、学ぶことができました。ニュージーランドのXmasは「夏」ということを知り、児童たちは、驚いていました。

第45回・学芸会が開催されました
 11月12日(土) **第45回・学芸会**が開催されました。直前に学校閉鎖となりましたが、予定通り開催することができました。ここ数年は、展示会としての開催でしたが、久しぶりに学芸会としての形での実施です。子どもたちは、各学年のテーマに沿った曲を毎日一生懸命練習し、当日の発表で披露させていただくことができました。皆様から子どもたちにいただいた温かい拍手に感謝いたします。開催に当たっては、感染防止対応にかかわって、待機や入退場等について、ご迷惑をおかけいたしました。ご協力いただいたこと、感謝申し上げます。写真は、6年生の演奏シーンです。小学校最後の学芸会。音だけでなく、聞いている人の心に"響く"思いが伝わってくる演奏でした。

後片付け~終わりは次の始まり
 木々の葉も散り落ち、冬の訪れを感じる季節となりました。学校で育てられてきた花や植物も片付けが進みました。"畑じまい"ですが、次へのスタートにつながっています。学校PTA花壇も整地され、来年の花植を待っています。写真は、1年生の朝顔の鉢の片付けの様子です。

引き続きご対応をお願いいたします
 登校前の検温、健康観察、健康調査シートへの記入、提出。
 児童に、発熱の有無にかかわらず、風邪症状が見られる場合は、症状がなくなるまで自宅での休養及び必要に応じて病院の受診等をお願いいたします。
 兄弟姉妹関係含めご家族に風邪症状が見られる場合についても、家庭での休養をお願いします。
 児童やご家族が以下の場合は、学校に連絡してください。
 ①児童・ご家族が感染した ②児童・ご家族が検査を受けた
 ③児童・ご家族が「濃厚接触者」に特定された
 ④保健所や病院から指示を受けた
 原則として、ご家族の方がPCR検査を受検した場合には、検査結果が判明するまで、登校をお控えいただきますようお願いいたします。

寝る子は(よく)育つ?
 人間は、他の動物と比較して、長く深く眠る動物です。これは、脳を大きく発達させたことや、安心安全な環境を手に入れたこと等が起因しています。では、人間にとって、睡眠にはどんな意味があるのか。次のような役割が挙げられます。
 ①脳や体を休ませる ②記憶や感情を整理する ③体の成長や修復を促す
 睡眠不足や不規則な睡眠習慣になると、疲れが十分にとれず、意欲が低下したり、集中力が続かなくなったりします。また、記憶が固定化されず、覚えたことが定着しなかったり、イライラして感情的になり他人との間にトラブルを起こす要因の一つになったりもします。さらに、睡眠時に分泌される「成長ホルモン」が十分に出来ないことから、体の成長に影響するほか、ケガの治癒が遅くなることもあるのです。これらのことから、成長期である子どもは特に、質の良い睡眠を心がける必要があります。みなさんのお子さんの睡眠の状況はいかがでしょうか。以下によい睡眠のために必要と言われているポイントをいくつか挙げておきます。
 決められた時間に布団に入る 就寝前にスマホやゲームをしない
 入浴等で体をリラックスさせる 寝る直前に食べない
 睡眠時間を意識する(小学生 8~12時間)
 ★よりよい活動の基盤は、睡眠と食事です。規則正しい生活習慣の形成のために、ご家庭の協力をお願いします。m(_ _)m

ちえ 智慧之輪
「知る」ことで見えてくる世界がある
題:【基礎】:物事の土台となる大もと
 学芸会が終了しました。十分な練習時間が取れない中でも、子どもたちは、毎日一生懸命練習し、当日の発表に臨んでいました。みんなで楽しそうに曲を演奏している姿を見て、趣味で楽器(電子サクソ)を吹いている自分も、子どもたちの演奏に参加したいという気持ちで一杯になりました。コロナ禍でなければ... 2年生練習風景一

楽器の演奏で重要なのは、基礎練習です。私(〇〇)は、高校時代にバンド部に所属していたのですが、練習のはじめは、ロングトーン、タンギング、スケール、そして体づくり(ランニングと腹筋)でした。これらは、音を安定して出すための基礎練習なのです。これをおろそかにすると、いくら曲自体を練習しても、よい演奏にはつながりません。しかし、大人になると、仕事や時間に追われ、基礎を振り返る時間が十分にとれません。私が、一昨年購入した新しい楽器を未だ上手く吹きこなせていないのは、ここに原因があると思われます。
 学習についても同じことが言えます。**基礎の学習こそが何よりも大切なのです。**子どもの頃は、とにかく、一つのことをくり返し反復練習し、基礎知識を固めること。小学生が取り組む、漢字、九九、四則計算等がそうです。これをいい加減にしておくと、その後、中学、高校へ進むにつれ、とてつもなく苦勞するか、学びを高め深めることが困難になっていきます。今、できないことは、いつか自然にできるようになるわけではありません。逆に、学びの基盤がしっかり整えられていくと、次に学んだことや新しく経験することが、どんどんつながりを持ち、知識が智慧として働くようになります。するとその基盤の上に、自分の学び方が身に付き、その結果、自分らしさや個性がつけられていくのです。
 そして、小学生時代に身に付けるべき基礎基本は、学びだけではありません。将来社会人として、人と関わりをもって生活や仕事をしていくために、**身に付けたい基礎基本を整えておくことが重要です。**私が担任だったとき中学生に伝えていた、「人として大切な基礎基本」を下に掲載しました。併せて、このような傾向が見られるとちょっと心配というリストも。もし、参考にいただければ幸いです。

(^_^)身に付けたい基礎基本
 ①自分の役割をきちんと果たすることができる
 ②きまりや約束を守る
 ③時間を守る
 ④持ち物(お金)の自己管理ができる
 ⑤挨拶やお礼がきちんとできる
 ⑥言葉づかいが丁寧で礼儀正しい
 ⑦人に心配や不安を与えるような行動をしない
 ⑧目標(目的)を持って学習・生活している

(-_-;)こんな行動が見えたら心配...
 ①自分のやるべきことをやらない。
 ②不平不満ばかり言う。(人の悪口を言う)
 ③時間にだらしない。
 ④きまりや約束を守らない。(服装や髪のはぐれ)
 ⑤忘れ物が多い(提出物をださない)
 ⑥言葉づかいが悪い(汚い言葉や乱暴な言葉を発する)
 ⑦すぐに感情的になる(注意をきかない)
 ⑧嘘をつく(隠し事がある)

自分らしさや個性とは、自分の好きなことだけをやっているわけではなく、**基盤となる資質を身に付けた上で、意味のある出会いや経験を積み重ねていくことで**培われていきます。子どもたちの将来につながる自分の土台づくりのために、学校は、学びや人としての基礎づくりをしっかりと支援していきたいと思えます。